

新型コロナウイルス感染症の影響に係る  
経済対策関係団体会議構成員 御中

新型コロナウイルス感染症の影響に係る  
経済対策関係団体会議会長  
(公 印 省 略)

県内オミクロン株確認に伴う注意喚起について（依頼）

新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策の推進につきましては、平素より御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本県においては、県民及び事業者の皆様のご協力により、新規感染者数は低い水準で推移しておりましたが、本日、米軍基地内において多数の陽性者が確認されました。

新たな変異株であるオミクロン株については、感染力が非常に強いとされるほか、現時点で不明な点も多く、予断を許しません。今後、感染状況は大きく変化する可能性もあることから、県からの情報発信は日々ご確認いただくようお願いいたします。

また、昨年度は年末から年始にかけての活発な推移や会食の増加等による流行が起きたことから、急速な増加や拡大を防ぐためにも、引き続き感染対策の徹底が必要となります。

つきましては、別添の知事コメント及び下記事項について貴団体会員等に周知いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

#### 記

- 1 会食は、なるべく大人数・長時間の開催は控えること
- 2 深夜遅くまでの飲酒等リスクが高くなる行動は控えること
- 3 大人数での会食を実施する場合は、できるだけワクチン接種完了者又は検査陰性者で行うこと
- 4 従業員の体調管理を徹底し、体調の悪い方は、出勤しない・させないこと
- 5 自社の従業員に対し、感染防止対策を実施していない店舗の利用を控えるよう求めること
- 6 その他、知事コメント「8 特にご注意いただきたいこと」をご確認頂きますようお願いいたします。

沖縄県商工労働部産業政策課  
産業振興企画班 安谷屋、瑞慶覧  
TEL：098-866-2330  
e-mail：adaniyay@pref.okinawa.lg.jp  
zuckerakt@pref.okinawa.lg.jp

## 知事コメント(原稿)

令和3年12月17日(金)

- 1 本日、新型コロナの陽性となっていた、キャンプハンセン勤務の米軍基地従業員で、うるま市在住50代男性のウイルスが、オミクロン株であることが判明いたしました。同基地では、海外渡航歴のある者を含む新型コロナウイルス感染症の70名規模のクラスターが発生しておりますが、本従業員と当該クラスターとの疫学的関連性については、現在調査中です。

(発生の経緯について)

- 2 当該陽性者については、12月12日に症状がみられたため、翌13日にPCR検査を受検しました。

12月14日には陽性と診断され、発生届が保健所に出されたところです。

15日には検体を県衛生環境研究所に搬送、L452Rスクリーニング検査を実施し、その結果、L452R変異すなわちデルタ株が陰性であることが判明しました。同日深夜にゲノム解析を開始し、本日オミクロン株であることが判明したところです。

この結果については、国立感染症研究所にも確認をしています。

(オミクロン株封じ込めの取組～検査体制)

- 3 県では、陽性検体については、可能な限りL452Rスクリーニング・ゲノム解析を実施し、早期にオミクロン株の検出ができる体制を構築しております。また、当該陽性者のほかに2名の方がL452R陰性で、オミクロン株のゲノム検査を実施しているところです。

(オミクロン株封じ込めの取組～医療提供体制)

- 4 現在、当該患者につきましては、重点医療機関において個室管理の下、入院加療を行っていただいております。

また、今後に備えて、本日、関係機関に対して、北部・中部地域における医療フェーズの引上げ(1から2へ)を通知するとともに、コロナ患者受入れ医療機関に対して、個室管理での入院受入れを想定した病床確保に向けた準備を進めるよう依頼を行ったところです。

県としましては、引き続き、重点医療機関をはじめ関係機関と連携を図り、オミクロン株封じ込めに向けて取り組んでまいります。

